

# 2023年度 活動報告



# 総務委員会報告

理事  
委員長  
副委員長  
委員

豊田 明美  
安保 孝幸  
西川 昌輝  
今井 教安  
大竹 利幸  
高石 雅之  
中島 めぐみ  
林 道太  
真邊 知佳  
渡辺 真一

ポーラ化成工業株式会社  
花王株式会社  
東京大学  
株式会社コーセー  
株式会社資生堂  
株式会社マンドム  
株式会社アルビオン  
株式会社ニコダームリサーチ  
大正製薬株式会社  
ライオン株式会社

# 2023年度活動報告

1. 社員・会員総会のとりのまとめ
2. マンダム動物実験代替法国際研究助成への対応
3. 化粧品等の安全性確保を目的した  
NGRA(Next generation risk assessment)に関する  
研究助成金への対応
4. 各賞(学会賞、功労賞、日化協LRI賞や優秀論文賞 等)の対応
5. 理事会・学会事務局との対応
6. 理事会・委員長会議・社員総会・会員総会などの  
運営および議事録作成
7. その他(HP修正等)

# 2023年度 企画委員会活動報告

	担当理事	山下 邦彦	大阪大学/(株)ダイセル
	委員長	池田 英史	マンダム
学会シンポジウム 分科会	副委員長	飯島 一智	横浜国立大学
	委員	榎本 詢子	島津製作所
	委員	清川 順平	中外製薬
	委員	田中 康浩	ILSI JAPAN
	委員	福田 隆之	ボゾリサーチセンター
技術セミナー 分科会	副委員長	成田 和人	食品薬品安全センター-秦野研究所
	委員	清水 健司	コスモステクニカルセンター
	委員	中村 牧	小林製薬
	委員	水谷 多恵子	CIEL
	委員	山口 宏之	関東化学
講習会 分科会	副委員長	西浦 英樹	日本コルマー
	委員	西條 拓	花王
	委員	畠中 内子	ジャパン・ティッシュエンジニアリング
	委員	半田 由希	倉敷紡績
	委員	目崎 美紀	大正製薬

# 活動実績

## (1) 学会シンポジウム分科会

- 第36回大会（千葉）企画委員会シンポジウム「各業界における動物実験代替法利用の進展と最新の取り組み」を計画・遂行

## (2) 技術セミナー分科会

- ADRA技術セミナーを開催（23.1.19, 20）  
講師：富士フイルム様、島津製作所様、  
富士フイルム和光純薬様  
場所：Shimadzu Tokyo Innovation Plaza  
人数：20名  
収益：約415,000円  
高い満足度と次回への期待の声
- 次年度：24年8月頃、経皮吸収性をテーマに開催予定

# 活動実績

## (3) 講習会分科会

- 「動物実験代替法：基礎から応用、各業界の新たなる挑戦」（23.8.25 WEBで開催）  
人数：178名  
収益：約388,000円  
次年度への期待の声（NGRA、in silico等）
- 次年度：24年7月頃開催予定



ADRA技術セミナー集合写真

# 2023年編集委員会

理事	石田 誠一(崇城大学)
委員長	古水 雄志(崇城大学)
副委員長	廣田 衛彦(資生堂)
編集委員	松下 琢 (崇城大学)
	今井 弘一(大阪歯科大)
	中澤 浩二(北九州市立大学)
	飯島 一智(横浜国立大学)
	木村 啓志(東海大学)
	前田 和哉(北里大学)
	尾形 信一(横浜国立大学)
	有海 秀人(山口東京理科大学)
	奈良 岡準(アステラス製薬株式会社)
	土屋 敏行(Meiji Seikaファルマ株式会社)
	塩谷 恭子(国立循環器病研究センター)
	鈴木 真 (沖縄科学技術大学院大学)

## 2023年度活動報告

### 1. 2023年度発刊報告(2022年9月-2023年8月)

AATEX Vol.27, No.2 の発行 (Original paper 2報 2022年12月末, J-Stage版公開)  
第35回大会 Supplement および AATEX-JaCVAM Vo.11, No.1 の発行を行った。

### 2. 学会誌の活性化に向けた活動報告

編集委員会で策定した「AATEX活性化案」に沿って、以下の項目を  
行動目標として活動している。

- 1) PMC 収載関係の対応として、外注費により投稿規定の改訂、査読ガイドライン、倫理規定の改訂に関する検討を進めている。引き続き、PMC 収載に関する対応を進める。
- 2) AATEX の充実と投稿数を増やすために、今後さらに、会員の皆さんから積極的な投稿をお願いします。

### 3. 特定不正行為に関する注意喚起

研究活動における特定不正行為(捏造、改ざん、盗用等)に十分注意して投稿論文を作成いただきますようお願いいたします。

# AATEX

## 優秀論文賞

表彰者：黒田 幸恵(国立衛研)

共著者：堀内 新一郎、相星 里葉、石田誠一

論文タイトル： **Evaluation of Liver Fibrosis Induction and Inhibition using Human Cultured Hepatic Stellate Cell Spheroid**

# 広報委員会報告

理事	小島 肇	(国立医薬品食品衛生研究所)
理事	秋田 正治	(鎌倉女子大学)
委員長	石井 宏	(マルホ株式会社)
副委員長	有海 秀人	(山口東京理科大学)
委員	石塚 典子	(静岡県立大学)
	臼井 健二	(甲南大学)
	前田 洋祐	(一般財団法人 化学物質評価研究機構)
	古川 克子	(東京大学)
	竹村 晃典	(千葉大学)

# 2023年度活動報告

## 1. メールニュースの発信

- ・迅速な情報提供：2023年度は51件を発信（2022年9月～2023年8月末）
- ・海外関連団体情報を約1～2回/月の頻度で13件を配信

## 2. ニュースレターの発行

- ・2023年度は2通（No. 72、73）<sup>1), 2)</sup>を発行した。
- ・年3回の発刊予定としていたが、法人化に伴う年度切り替え（9月開始⇒翌年8月終了）と発刊のタイミングがうまく調整できなかった。2024年度は、10月\*、3月、7月の3回を目指す。なお、No.74<sup>3)</sup>は、2023年11月発行済みである。

1) No.72：日本動物実験代替法学会第35回大会のご案内（2），EUSAAT2022の報告, 2022年度 一般社団法人日本動物実験代替法学会 学会賞決定報告, 2022年度 一般社団法人日本動物実験代替法学会 日化協LRI賞決定報告, 第15回マンダム動物実験代替法国際研究助成 助成金交付者決定報告, 第9回化粧品等の安全性確保を目的としたNGRA（Next generation risk assessment）に関する研究助成金の公募, チャレンジコンテスト2022開催報告, 技術講演会の報告

2) No.73：日本動物実験代替法学会第35回大会の報告, 日本動物実験代替法学会第36回大会の案内, 2021年度 会計報告, 2022年度 会計報告, 2023年度 予算報告, ASCCTの参加報告, ESTIVの参加報告, スリランカ国際シンポジウム報告, ACAAの参加報告, ソニー訪問, 3Rs啓発委員会のバナー報告

3) No.74：日本動物実験代替法学会第36回大会の案内（2），WC12（国際動物実験代替法学会第12回大会）参加報告, 韓国動物実験代替法学会（KSAAE）発表報告, 第16回マンダム動物実験代替法国際研究助成助成金交付者決定報告, 動物実験代替法チャレンジコンテスト2023開催報告, 企画委員会主催 講習会開催, 宮崎博之先生の思い出－希望を大切に－, 宮崎先生と歩んだ学会活動・法人化

# 2023年度活動報告

## 3. ホームページの更新及びリニューアル対応

- ・日本語HP及び英語HPを随時更新
- ・社団法人化に伴うHPの一新及び利便性向上のためのHPリニューアル作業に向けた内容精査及び業者選定を実施し、新たなHP管理業者とHPリニューアルに向けて対応を開始した。
- ・HP管理業者の選定に時間がかかり、リニューアル作業が遅延したものの、現在、HPリニューアル作業を実施中。2024年1月に更新予定。
- ・2023年度アクセス数（トップビュー）：日本語HP 22,587回，英語HP 917回

目標として、2年前のアクセス数（日本語HP 18,326件、英語HP 704件）の1.5倍を目指していたが、リニューアル作業が予定通り進捗しなかったものの、HPの情報更新の活発化により、日本語HPでは約1.2倍、英語HPでは約1.3倍と着実な上昇が見られた。2024年度には、HPリニューアル作業も完了予定であり、より見やすくなることから、更なるアクセス数の改善が期待できる。

HPの更新にご尽力いただいた総務委員会や財務委員会をはじめとした各委員会の皆様に心よりお礼申し上げます。

# 2023年度 国際交流委員会報告

国際交流委員

担当理事：小島 肇

委員長：畑尾正人

副委員長：佐久間めぐみ

委員：小林英恵

酒井康行

竹内小苗

武吉正博

三竹博道

安彦行人

山田隆志

# 国際対応

## 1. 3Rsを念頭に、欧米アジアとの交流を継続

- Asian Congressの開催に協力し、藤堂副理事長、石田理事、小島理事が組織委員会に参画し、日本から専門家が座長および演者として参加した。
- 広報委員会および3Rs啓発委員会とともにチャレンジコンテストを実施。3高校を表彰し、HPで結果を海外に発信した。
- The 12th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (WC12)にて A World of 3R Centres: Unity in Diversityのセッションを開催し、小島理事からLatest activities and future directions of JSAAE for Asian cooperation toward 3Rsのタイトルで発表を行った。また国内若手研究者2名にトラベルアワードを授与。アジア在住の学会発表者から2名を選出し、JSAAE Awardを授与。

2023

## 2. Asian Federation

- アジアにおける動物実験代替法の普及促進のため、委員長を中心にKSAAE, TATT, SAAE-Iなどと連携しながら、2024年12月にインドで開催される予定の第4回アジア動物実験代替法学会(Asian Congress)でのAsian Federationの調印を目標に、web会議等で合意に向けて調整した。
- 酒井委員がAsian Federationへの中国参加に向けて訪中し交渉を行った。

# 会員サービス

## 3. 会員への国際情報発信を強化

国際情報を積極的に収集し、メールニュースで国際情報を毎月会員に発信した。  
海外関連団体情報16回発行した。

## 4. 大会シンポジウムを企画・準備

第36回大会における国際シンポジウムのタイトルを「Worldwide 3Rs activities」と定め、  
演者を選んだ。

Yoshie Kakura (Teikyo University of Science)

Wei Liu (Dalian University of Technology)

Winfried Neuhaus (Austrian Institute of Technology GmbH)

Sunhyun Park (Korean Institute of Technology)

Sheikh Raisuddin (Jamia Hamdard University)

## 5. 学会国際化に向けたアンケート

今後、学会を国際化していくことに対して、大会の発表形式などについての会員アンケートを行った。

# 会計・財務委員会 2023年度活動報告

担当理事  
委員長  
委員

笠原 利彦 (富士フィルム株式会社)  
梅下 和彦 (サンスター株式会社)  
有田 裕子 (ピアス株式会社)  
小野 敦 (岡山大学)  
竹内 和也 (日産化学株式会社)  
中村 牧 (小林製薬株式会社)  
萩野 滋延 (株式会社資生堂)  
三田地 隆史 (株式会社ダイセル)  
本山順子 (ライオン株式会社)

# 1. 正会員数の推移

2022/9/30  
正会員 : 416名  
学生会員 : 36名



2023/11/7  
正会員 : 458名(仮会員18名込み)  
学生会員 : 55名(仮会員10名込み)

**前年度と比較して、1割程度増加**  
(前年度と集計の時期が違いため、参考まで)

**年会費収入は、400名で予算立て**

## 2. 賛助会員の推移

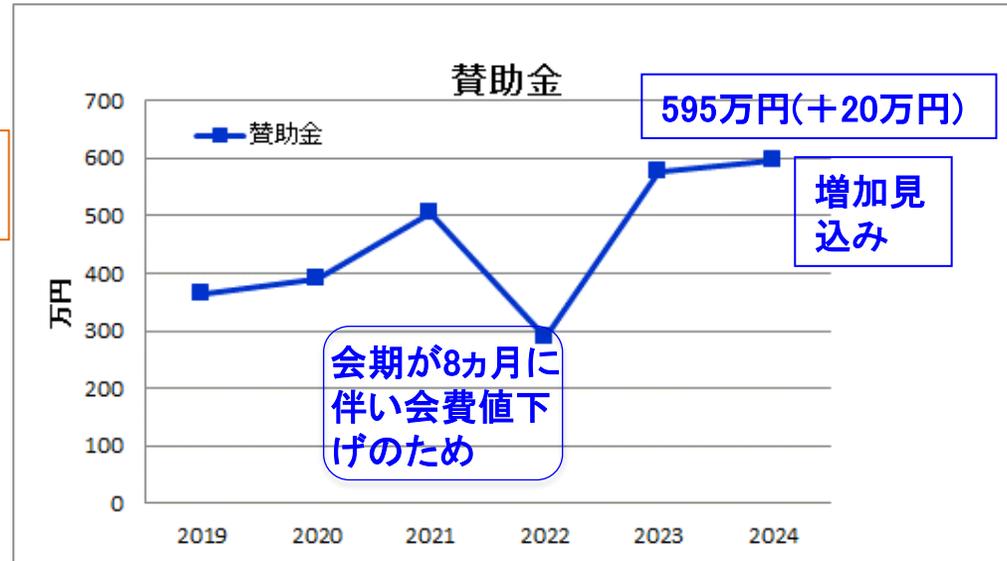
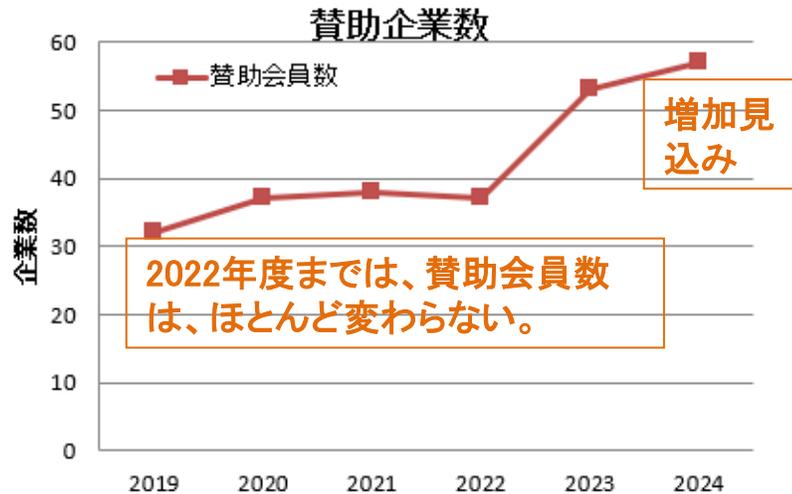
■ 2023年度の賛助会員数：53社/団体 → 2024年度：57社/団体

23年度 ■ プラチナ : 2社 (-1) 5口(-1口)

■ ゴールド : 14社 (+8) → ±0社 (2社-2社) ⇒ 14社 (予定)

■ シルバー : 37社 (+8) → +4社 ⇒ 41社 (予定)

24年度



\*: 2023年11月7日時点

### ■ 勧誘活動

以前から当学会の年大会に参加して頂いた企業または団体に、メール、電話およびWeb会議でお声がけをさせていただきました。

賛助会員の企業様にご協力に感謝いたします。

### 3. 未納者数 (2023年11月7日時点)

- 1) 未納者に対しては、メールおよび電話で会費納入を催促し、3ヶ月経っても納入がない場合は、さらにメール等で会費の納入を促した。
- 2) 会費納入を促進するために、コンビニでも納金可能なSMBCの振り込み方式を、2022年から導入した。

■ 未納者 2022年10月:59名 → 2023年11月:7名 **52名減**

	2022年10月	2023年11月	回収率
・2020年より滞納	5名	⇒ 0名 (4名納金、1名退会)	80%
・2021年より滞納	6名	⇒ 1名 (5名納金)	83%
・2022年より滞納	48名	⇒ 6名 (42名納金)	88%

#### ■ お願い

- ✓ SMBC用紙によるお振込の他、クレジットカード決済も可能です。
- ✓ ご所属等、ご本人様以外のお名前でのお振込及び、SMBC振替払込取扱票を使用せずにお振込いただく場合は、メールまたはファックスで**学会事務局宛**ご連絡ください。
- ✓ 個人の費用を、会社が入金する場合は、誰の費用なのか分からないため、メールまたはファックスで**学会事務局宛**ご連絡ください。

## 4. インボイス制度の導入

- ・財務委員会、顧問税理士でインボイス制度の導入について議論を実施

学会の課税対象売上が、**1千万円を超える**ことが予想される。

免税事業者を断念し、インボイス制を導入することを決定した

納税地	112-0012 東京都文京区大塚5丁目3番13号
名称	一般社団法人日本動物実験代替法学会 御中

東局イ特 第 852481 号

令和 5 年 5 月 30 日

小石川

税務署長  
財務事務官  
倉成 由利子

### 適格請求書発行事業者の登録通知書

貴法人 から令和 5年 3月 30日付で提出された適格請求書発行事業者の登録申請に基づき、以下の通り登録しましたので、通知します。

登録年月日	<u>令和 5年 10月 1日</u>
登録番号	<u>T6010005034342</u>
名称	一般社団法人日本動物実験代替法学会
本店又は主たる事務所の所在地	東京都文京区大塚5丁目3番13号

# 学術委員会報告

理事	諫田泰成	国立医薬品食品衛生研究所
委員長	福田 淳二	横浜国立大学
副委員長	杉浦 慎治	産業技術総合研究所
委員	寒水孝司	東京理科大学
	河野まおり	マンダム
	尾上誠良	静岡県立大学
	前田和哉	北里大学
	斎藤和智	ILSI Japan
	関根秀一	資生堂
	佐藤あやの	岡山大学

# 2023年度活動報告

- 1) マンダム研究助成金の審査
- 2) 学会賞の審査
- 3) 日化協LRI賞の審査
- 4) 化粧品等の安全性確保を目的としたNGRA (Next generation risk assessment) に関する研究助成金の公募要領の修正
- 5) 学会賞の公募要領の修正
  - 代議員は同一年度に1名のみ推薦可能。
  - 過去に本賞を受賞している場合、その受賞内容を含む功績に対しては授与しない。
- 6) 第36回大会の表彰実施要綱と実施方法について議論し、大会準備
  - ポスター賞の投票システム、実施要領の修正など

# 3Rs啓発委員会活動報告

委員長	小島伸彦	横浜市立大学
副委員長	内野 正	国立医薬品食品衛生研究所
担当理事	秋田正治	鎌倉女子大学
委員	麻薙美紀	資生堂
	大内淳子	花王
	奥村秀信	美健科学研究所
	児玉伊智郎	やまぐち総合教育支援センター (現・山口県立岩国高等学校副校長)
	小林太郎	池田理化
	徳永彩乃	関東化学
	仲原聡	
	梨本裕司	東京医科歯科大学
	堀口一樹	大阪大学
	三竹博道	J-TEC
	目崎美紀	大正製薬株式会社
	湯浅敦子	富士フイルム
	渡辺吉彦	エコセル

アカデミア・研究所・高校：6名、企業：10名

# 活動実績

## (1)出前講義

- 50枚弱の基本スライドで出前講義を行い、アンケート結果に基づいて改善→出前講義2.0システムをほぼ完成
- 12月崇城大学にて動画利用の出前講義（石田先生）
- 3/29東京弁護士会オンライン講義（板垣理事長、小島）
- 6/7東大にてオンライン講義（湯浅委員）
- 8/18チャレンジコンテスト（徳永委員）
- 千葉大学にて動画利用の出前講義予定（伊藤先生）

## (2)チャレンジコンテスト2023

- 一次審査に13校17チームが応募
- 8/18に最終審査会をオンラインにて開催、5チームが参加
- 外部委託企業による運営システムの構築
- 協賛企業4社→9社への拡大
- CC2024への様々な経験・課題を蓄積

## (3)企業座談会（正式名称＝企業探訪シリーズ）

- 12/20にソニー様、7/19にマンダム様との座談会を実施  
ニュースレターに記事を掲載
- 学会ウェブサイト専用ページを開設予定

# グループと活動頻度

- ・ **出前講義**  
湯浅, 徳永, 三竹, 内野
  - ・ **チャレンジコンテスト**  
梨本, 堀口, 小林, 麻薙, 目崎, 児玉, 奥村, 大内, 中原
  - ・ **企業座談会**  
渡辺, 小林, 徳永, 麻薙, 目崎
- 
- ・ **全体の委員会は22/10/3に1回実施、  
有志の交流会を12月、3月、6月、8月、11月に実施**
  - ・ **出前講義について12月～11月に7回以上のMtgを実施**
  - ・ **CCについて12月～11月に13回以上のMtgを実施**
  - ・ **企業座談会について12月～11月に6回以上のMtgを実施**
  - ・ **定期的な昼食時間帯のオンラインMtgが効果的  
また、Teams投稿による連絡・相談で時間を節約**

# SDGsワーキンググループ報告

担当理事	古川克子	東京大学
委員長	古川克子	東京大学
副委員長	小島伸彦	横浜市立大学
委員	小林英恵	資生堂
委員	坂口 齊	花王
委員	篠原満利恵	東京大学
委員	杉山真理子	資生堂
委員	MONTAGNE Kevin	東京大学・インテグリカルチャー
委員	古屋律子	エル・シー・エス(株) (LVMH)
理事長	板垣 宏	

# 2023年度活動実績

第一回SDGsワーキンググループ会議	2022年10月5日
第二回SDGsワーキンググループ会議	2022年11月25日
第三回SDGsワーキンググループ会議	2022年12月27日
第四回SDGsワーキンググループ会議	2023年4月6日
第五回SDGsワーキンググループ会議	2023年7月5日
第六回SDGsワーキンググループ会議	2023年8月4日

# 2023年度活動報告

- 会員増にターゲットを絞った活動の検討
- ワーキンググループ会議の開催  
(WEBにて1～2月1回の頻度)
- 化粧品学会の化粧品のセーフティアセッサー教育制度への協力
  - ・化粧品学会・粧工会との連携
  - ・SDGsワーキングが本学会の窓口として各種業務を調整
- シニア会員制度の検討
  - ・65歳以上の会員に向けたサービスを新設
  - ・条件について他学会の制度を確認
  - ・現状の定款・施行細則を確認し改定案の検討
- 企業とアカデミアの連携強化策
  - ・企業会員とアカデミア会員との交流の活発化
  - ・企業会員の博士の学位取得を啓発・促進
  - ・上記目標を達成すべくオンラインイベントの企画

# WEB企画検討ワーキンググループ 報告

委員長: 小森 喜久夫  
副委員長: 湯田 浩太郎  
委員: 池田 英史 (企画・委員長)  
臼井 健二 (広報)  
笠原 利彦 (財務・担当理事)  
木村 啓志 (編集)  
児玉 伊智郎 (3Rs啓発)  
西川 昌輝 (総務・副委員長)  
山下 邦彦 (企画・担当理事)  
理事: 板垣 宏

目標: 大会/企画/会議へのWEBの積極的運用方法の  
提案とその概要・報告書提出

# 2022-2023年度活動報告(1)

## 1. オンライン講演会・会議・企画で使用するアプリケーションの調査・比較・提案

- ZOOM ←———— コスト・つながりやすさ・参加者数を考慮
  - Microsoft Teams
  - Webex
- 2022年6月初めから導入

## 2. 期間内におけるZOOM導入後の使用例

- 2022年8月25日:企画委員会主催のオンライン講演会  
「新しい挑戦へ向かう代替法の現在地 –最新動向の理解–」
- 2022年度・第4回委員長会議以降の各種オンライン会議
- 2023年8月3日:企画委員会主催のオンライン講演会  
「動物実験代替法:基礎から応用、各業界の新たなる挑戦」

講演会や会議でトラブルなど報告なし

# 2022-2023年度活動報告(2)

## 3. オンサイト・オンライン・ハイブリッド大会の総括と提言

- 各運営方式で利点・欠点あり
  - ① オンサイト:  
一般講演および企業展示でのアクティビティ向上
  - ② オンライン・ハイブリッド大会:  
遠方の講演者、出張困難な会員が容易に参加可能
- 平時での大会運営方式は大会長に一任
  - ① オンライン・ハイブリッド開催は、状況によって受け入れ可能
  - ② オンライン開催:準備や運営が比較的容易、低コスト化可能

## 4. オンライン懇親会のアプリケーションの推薦

- SpatialChat(仮想空間内で距離が近づくと会話可能)

## 5. 報告書の取りまとめ